

第1回御幸森小学校 学校跡地検討会議 開催概要

1 開催日時

令和元年 8 月 21 日（水）19 時 00 分～21 時 00 分

2 開催場所

御幸森小学校 多目的室

3 出席者

- ・ 委員：足立委員、安委員、井上委員、任委員、熊谷委員、新藤委員、宋委員、高倉委員、高田委員、中尾委員、宮崎委員、安田委員
- ・ 区役所：山口区長、櫻井副区長、大川地域活性化担当課長、杉本まちづくり推進担当課長、井平安心まちづくり担当課長、松野地域活性化担当課長代理、川楠地域活性化担当課長代理、竹中担当係長、澤見係員
- ・ (株)セミコロン：林氏、佐々木氏、藤野氏

4 会議内容

- (1) 区長挨拶
- (2) 学校跡地検討会議の運営について
- (3) 出席者自己紹介
- (4) はじめに
 - ・ これまでの動きと今後の方向性
 - ・ 学校跡地検討会議とは
 - ・ 学校跡地活用にかかる全体の流れ
 - ・ 学校跡地活用の運営スキーム案
- (5) 「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想」の概要説明
- (6) 意見交換

（ご意見と回答）

- 学校活用に際し、設備修繕や外壁補修等のメンテ費用がかかると思うが学校活用会社は収支バランスがとれるのか。

⇒ 学校跡地を残しておくだけでも維持管理費がかかるので、それを賄うために民間の事業を活用することを考えています。実際に収支が賄えるかどうか簡単ではないと思いますが、事業者や地域住民等の発想により、良い運営形態になるよう可能性を追求していきます。

- 避難スペース等、防災拠点であることを大前提とし、そのうえで活用していくことを考えてほしい。

⇒ 学校跡地は防災拠点として残すのが前提条件であり、第一に考えることは認識しています。今後この会議で、防災スペース及び活用スペースの範囲をどれく

らいにするのか等ご意見をいただき、しっかり対応していきたいと考えています。

- 活用内容によっては、近隣の方からの騒音や臭いのクレームも考えられる。
⇒ 活用に際して、騒音や臭いの対策はきちんと考えていきます。
- 学校跡地検討会議の開催予定が3回では少ない。御幸森小学校の強み・弱みの把握が必要であるとするが、3回では計画も作れないと思う。
⇒ 3回の検討会議において活用の考え方を固めることを想定していますが、特に防災関係の議論は大事と考えているので、必要に応じて別途会議体を設けることも考えています。
- この検討会議は地域とコンセプトを共有する場と思って良いか。
⇒ 検討会議の位置づけはそのとおりで、最初に議論するメインの内容と思っています。
- いきいき教室はどうなる予定なのか。
⇒ いきいき教室は新学校に設置することになると思いますが、新学校から御幸森小に皆で帰ってきて、御幸森小で保護者に引き渡す方向で考えています。
- 学校体育施設開放事業はどうなるのか。有料となるか。
⇒ 学校体育施設開放事業は、現存する学校の施設を開放する事業であり、廃校となった小学校跡地で継続することは難しいと考えています。ただし、地域として活動を継続する必要があるということであれば、検討することは可能と思っています。
使用料については、将来的に新しく使用するものまで無料とすることは困難と考えており、金額的なことも含め今後調整していくことになると思います。
- 学校跡地の主な活用アイデア
 - ・ 周辺は駐車場が少ない状況であるため、校地の一部を駐車場としてはどうか。
 - ・ 歴史の古いまちなので地域のアーカイブの場所としての役割、人権研修の場としての役割、多文化の拠点としての役割など歴史と未来に向けてのまちの積み上げを発信する場であってほしい。
 - ・ 校舎の一部に多文化共生センターを設置。
 - ・ 大学のサテライトキャンパスとする。
 - ・ 体育館をコンサート会場とする。(多国籍のミュージシャンのライブ等)
 - ・ 運動場に芝生を敷き、バーベキュー広場とする。(コリアタウンで材料も揃う)